令和３年度シラバス　　学番５１　新潟県立小千谷西高等学校

数学Ｂ

教　　科	数　学	単位数	２　単位	年　次	２　年次
使 用 教 材	数研出版　『改訂版　最新　数学Ｂ』				
副 教 材 等	数研出版　『改訂版　３ROUND　数学Ｂ』				

１　学習の到達目標

数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

２　科目の特色（目標を実現するための重要点を含む）

「数列」では、等差数列、等比数列や漸化式で表された簡単な数列及び数学的帰納法を扱う。
「ベクトル」では、平面上のベクトル及び空間におけるベクトルを扱う。

３　学習計画

学期	月	時	単元・題材	指導内容	評価方法
１学期	４	15	数列とその和①	数列、等差数列、等差数列の和 等比数列、等比数列の和	・定期考査 ・授業態度 ・ノート検査
	５				
	６	9	数列とその和②	いろいろな数列の和、階差数列、数列の和と一般項	
	７				
	８	10	数学的帰納法	数列の帰納的定義、数学的帰納法	
	９				
		14	平面上のベクトル	ベクトルとその意味 ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積	
２学期	10				
	11				
		11	ベクトルの応用	位置ベクトル いろいろな応用 ベクトル方程式	
	12				
	１	11	空間におけるベクトル	空間座標 空間のベクトル 位置ベクトル いろいろな応用	
	２				
	３				
合計時間数		70	（50 分授業）		

４　評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の４つの観点から行います。

関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方考え方を身につけている。
数学的な技能	事象を数学的に表現･処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。
知識・理解	数学における基本的な概念、原理･法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

・学習活動への参加状況（演習問題への取組み、授業時の発問に対する解答、ノート検査）

・定期考査の成績

また、１年間の評定は、１学期・２学期の年間を通じて、上記内容を総合的に判断して決定します。

５　留意すべき点（担当者からのメッセージを含む）

　数学Ⅰ・Ａで学んだ２次関数や平面図形などの初等的段階から、事象を数学的にとらえ、論理的に考えて処理しようとする応用力を身につけることを目標としています。